

ドラマティックなストーリーと、美しい旋律で紡がれる 珠玉の韓国ミュージカル5作品がスクリーンに登場!

1960年代から進化を続け、2000年代に一気に花開き世界的躍進を遂げた韓国ミュージカル。

その勢いは留まるところを知らず、人気アーティストや実力派の俳優が日々舞台に立ち、劇場は熱気で溢れている。

そんな韓国ミュージカルを日本にしながら、映画館の大きなスクリーンと迫力の音響で鑑賞できるのが「韓国ミュージカル ON SCREEN」だ。

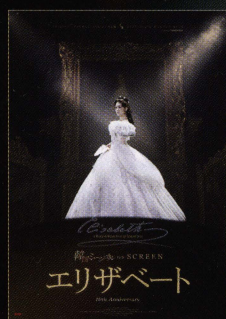
ラインアップされた『エリザベート』『ファントム』『マリー・アントワネット』『笑う男』『モーツァルト!』の5作品はすべて日本でも上演され高い人気を誇るグランドミュージカル。さらに『モーツァルト!』は出演者らのオフステージでの様子やコメントも収録されたスペシャルバージョンの上映となる。

韓国ミュージカルに興味はあるけれど海外での観劇が不安な方や、推しキャストが舞台で輝く姿を大画面で堪能したい人、日本上演版との違いを確認し作品を深掘りしたい方には特にオススメの「韓国ミュージカル ON SCREEN」。

日本語字幕付き、複数のカメラで撮影された迫力ある映像を音響設備の整った映画館でぜひ体感してほしい。

全国映画館にて2週間限定上映

LINE UP



エリザベート

2025年7月11日(金)～
7月24日(木)



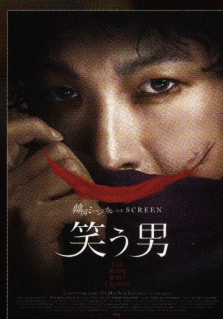
ファントム

2025年9月12日(金)～
9月25日(木)



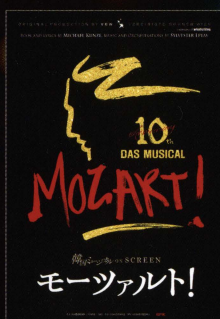
マリー・アントワネット

2025年11月14日(金)～
11月27日(木)



笑う男

2026年1月9日(金)～
1月22日(木)



モーツァルト!

2026年3月6日(金)～
3月19日(木)

※上映期間が延長される場合や、一部劇場ではスケジュールが変更となる場合があります。最新の上映日程は各劇場の公式サイトでご確認ください。

チケット情報

一般料金: 3,500円(税込) 学生・障がい者割引: 2,500円(税込)

※特別興行につき各種割引や招待券等とはご利用いただけません。

ムビチケ前売券〈作品指定 単体券〉: 3,200円(税込)

『エリザベート』販売期間: 2025年4月25日(金) 10:00～7月10日(木) 23:59

※他作品は後日詳細発表

ムビチケ前売共通券〈5作品共通 2枚セット券〉: 6,200円(税込)

販売期間: 2025年4月25日(金) 10:00～

※「韓国ミュージカル ON SCREEN」5作品のうち、2回分鑑賞が可能です。

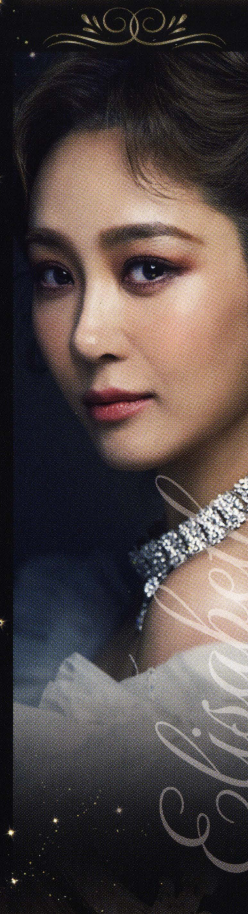
最新情報など詳細はこちら▶

<https://kmusicalonscreen.com/>

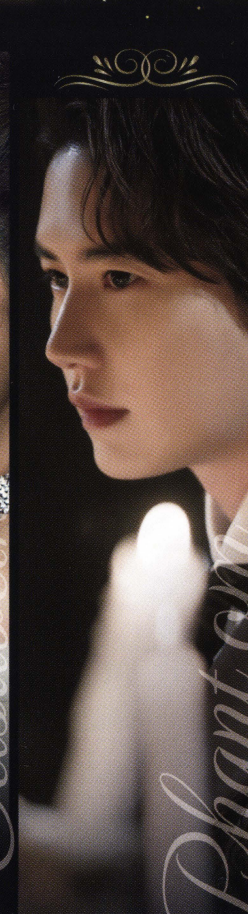
公式X: @kmusical_os 公式IG: @kmusical_os



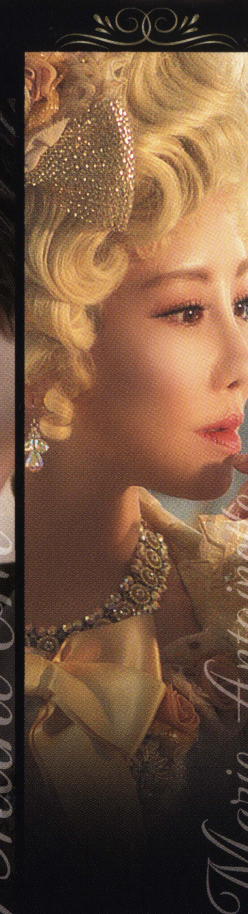
激動の恋、運命の渦—— 極上の韓国ミュージカルが集結 映画館で今、幕が上がる



エリザベート



ファントム



マリー・アントワネット



笑う男



モーツァルト!

韓国ミュージカル ON SCREEN

LINE UP

エリザベート

2022年公演版
2024年韓国劇場公開作品

ファントム

2021年公演版
2021年韓国劇場公開作品

マリー・アントワネット

2021年公演版

笑う男

2018年公演版
2019年韓国劇場公開作品

モーツァルト!

2020年公演版

2025年7月11日(金)より全5作品順次公開

世界中から愛される大ヒットミュージカルの韓国版『エリザベート』

“ブロードウェイとは異なる作風のミュージカルを”との想いのもと、ミハエル・クンツェ(脚本・歌詞)とシルヴェスター・リーヴァイ(作曲・編曲)により1992年、ウィーンにて初演。その大成功を受け、今も世界各地で上演され続けているウィーンミュージカルの記念碑的な作品。日本では1996年に宝塚歌劇版が、2000年に東宝版の公演が実施され、韓国版も2012年の初演以来、爆発的な人気を誇り繰り返し上演されている。



Story

煉獄の裁判所、そこでは100年前にオーストリア皇妃、エリザベートを暗殺したルイジ・ルキーニの審判がおこなわれていた。暗殺の動機を問われたルキーニは「彼女が望んだことだ!彼女は“死”と愛し合っていた」と答え、時は19世紀半ばへと遡る。自由を愛した美貌の皇妃、エリザベートと彼女を見つける“死”(トート)、夫のオーストリア皇帝、フランツ・ヨーゼフ。ハプスブルク帝国の終焉に向かって時代は大きく動き始めた。



ORIGINAL PRODUCTION BY VBW ★ VEREINIGTE BÜHNEN WIEN

オク・ジュヒョン イ・ヘジュン イ・ジフン キル・ビョンミン

脚本・作詞|ミハエル・クンツェ 作曲・編曲|シルヴェスター・リーヴァイ 韓国語歌詞|パク・インソン、キム・ムンジョン、クワン・ウナ 演出|パク・ジェソク

2022年/韓国/カラー/162分/ビスタ/5.1ch ㉿ ©2022 EMK Musical Company, All Rights Reserved

A Musical by Michael Kunze and Sylvester Levay

2025年7月11日(金)より全国映画館にて公開

エリザベート



“オペラ座の怪人”ファントムと、歌姫クリスティーヌの悲哀を 美しい音楽にのせドラマティックに描いた人気ミュージカル

フランスの小説家、ガストン・ルルーの「オペラ座の怪人」を原作に、アーサー・コピット(脚本)とモーリー・イエストン(作曲・歌詞)のタッグにより1991年、テキサス州ヒューストンにて初演。同じ原作を基に製作された、アンドリュー・ロイド＝ウェバー版『オペラ座の怪人』に比べ、主人公・エリックの人間性や出生の秘密などにより深く迫った物語となっており、今も世界中のさまざまなカンパニーで上演され続けている人気ミュージカル。

STORY

19世紀末のパリ、オペラ座。醜い顔を仮面で隠し、地下に潜む青年、エリックは、“ファントム”と呼ばれ恐れられていた。ある日、歌手を夢見るクリスティーヌの歌を偶然聞いたエリックは亡き母の姿を彼女に重ね、密かに個人レッスンをするように。次第に才能を開花させオペラ座での大役を任されるクリスティーヌ。そんな彼女にオペラ座のパトロン、シャンドン伯爵は愛の告白をするのだが、プリマドンナの嫉妬と陰謀で思わぬ悲劇が人々を襲う。



PHANTOM

ファントム

キュヒョン(SUPER JUNIOR) イム・ソンヘ シン・ヨンスク

原作|ガストン・ルルー(小説「オペラ座の怪人」) 脚本|アーサー・コピット 作曲・歌詞|モーリー・イエストン 韓国語歌詞|パク・チョンフイ 演出|パク・ジェソク

2021年/韓国/カラー/180分/16:9/5.1ch ㉿ ©2021 EMK Musical Company, All Rights Reserved

2025年9月12日(金)より全国映画館にて公開予定